

特集

かのや
故郷への想いを
地方創生のヒントに！





今月のカバー

田んぼとかかし

下高隈町上別府に広がる棚田。もうすぐ稲刈りの季節を迎えます。たくさんの人を楽しませ、心を和ませてくれる田んぼの風景。ふるさとの美しい景色をいつまでも大切にしたいですね。

目次 contents

03 大人の社会見学
鹿屋市民族館

特集
かのや
04 故郷への想いを
地方創生のヒントに!

10 街フォトスクラップ

14 未来につなぐ 森林づくり

18 「空中給油機KC-130」の
訓練移転の動向

20 情報掲示板

24 Health Care まちの保健室

25 市民のひろば

26 マチロク、Close Up

27 明日への扉
大平 龍美さん



統計情報

平成27年 8月 1日現在(前月比)

- 人口 / 103,607人 (+6)
- 男性 / 49,133人 (±0)
- 女性 / 54,474人 (+6)
- 世帯 / 45,641世帯 (-19)
- 面積 / 448.33km²

市の花 ばら

テラコッタ

半剣弁高芯咲きで、花色はめずらしい赤茶色。やや丸みを帯びたボリュームのある花は、数輪の房咲きに咲き、花もちがよいが特徴です。



鹿屋市広報

- 鹿屋市ホームページ
<http://www.e-kanoya.net/>
- 鹿屋市公式 facebook
<https://www.facebook.com/Kanoya.City>
- 鹿屋市ラジオ広報番組
F Mかのや (77.2MHz)
(月～金曜日、8:05～と16:05～)



Rena Theater

映画情報 あん



ドリアン助川の同名小説「あん」を、世界を舞台に創作活動続ける監督・河瀬直美が映画化。元ハンセン病患者の老女が尊厳を失わず生きようとする姿を丁寧に紡ぐ人間ドラマ。

◎上映時間 (113分)

①10時～ ②13時～

※16時～、19時～は「ジュラシック・ワールド(2D)」を上映

◎鑑賞料 一般/1,800円 高・大学生/1,500円
中学生以下/1,000円 60歳以上/1,000円

問リナシティかのや ☎35-1001

※特別割引券は、1枚につきお一人限りです。
また他の割引券との併用はできません。



割引券をお持ちの方に300円
(60歳以上を除く)中学生以下は200円
を割引します。
特別割引券
あん

大人の 社会見学

鹿屋の地で育まれた
名品・名産・名所などの
よかもんをご紹介します

鹿屋市民族館



上高隈町3779-1

☎45-2872



鹿屋市民族館館長
佐藤 正人(マーティ)さん



上高隈町の大隅湖のほとりに建つ民族館。エキゾチックな外觀が印象的で、どんな施設なのか気になっていらっしゃる方もいるのではないのでしょうか。

今回は館長の佐藤正人さんに民族館について紹介していただきました。

「民族館はアジアの文化を学んだり国際交流の体験ができる施設として平成9年に建設されました。

館内ではアジア14か国の個性豊かな民族衣装の試着、楽器の



演奏、クラフト体験など、異文化を肌で直接感じることが出来ます。

民族衣装は100点以上ある中から好きなものを選んで服の上から簡単に試着することができます。一番人気はチマ・チョリなどの韓国の服です。

また楽器はアジアの楽器を中心に40点ほどを揃えており、自由に演奏することができます。小学校の国語の教科書にも出てくる馬頭琴など珍しい楽器に実際に触れてみて、西洋の楽器にはない独特の音階などの魅力を感じてほしいと思います。

また、クラフト体験ではビーズで国旗や動物のアクセサリを作ったり、ウクレレやマラカスなどを製作することができます(要材料費)。スタッフが製作のアドバイスや個人では難しい楽器のチューニングなども行いますので、お気軽に参加してください。体験の他にもコーヒーや紅茶、おもスイーツ等が楽しめる喫茶コーナーや雑貨の販売コーナーなどもあります。入館料は無料ですのでドライブ休憩の時に立ち寄ってみてくださいね。

民族館では昨年度から市内の各小学校に出向いて、『馬頭琴試奏体験講座』という新しい取り組みを行っています。これからも行ってみたい、来てよかったと思っただけのような取り組みを行ってまいりますので、ぜひ一度民族館に遊びに来てみてくださいね。」



Fukuoka Prefecture

福岡

7月27日、福岡県内のホテルで福岡在住で市にゆかりのある9人の方と福井副市長との意見交換を行いました。会では市から今後の人口の動態や地方創生の取り組みの現状についての説明が行われた後、出席者からは次のような意見が出されました。

必要。これまでの広告媒体はテレビであったが、今はインターネットやSNSが主である。
【山下】 鹿屋の売りは「だっきしょ」などがあると思うが、いかにしてマーケットにPRしていくかが重要。青果を取扱っているが値段の違いは、やはりブ

7月27日：福岡県
 7月29日：東京都
 7月30日：大阪府

Fukuoka

Osaka

Tokyo

Kanoya



(株)東急エージェンシー
 アカUNTスーパーバイザー
 ほうらい
宝来 浩一さん

鹿屋の売りについて

【宝来】 光るものが一つあればいい。ばら園も鹿屋だけにあるわけではない。一番手のものが

地方創生とは？

わが国における急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、日本全体、特に地方の人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の集中を是正し、それぞれの地域で住みやすい環境の確保を行うことと、将来にわたり活力ある日本社会を維持していくことが喫緊の課題となっています。

このため国では、平成26年9月に「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、同年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定しました。また、同法において都道府県及び市町村（特別区を含む）における「地方版総合戦略」の策定が努力義務とされました。

【本房】 観光については、東京や福岡の観光に飽きた外国人が、そのうち鹿屋に来ると思う。また、人を増やすための施策であれば産業しかないが、流通に経費がかかるのではないかと。鹿屋



マルクト
進藤 樹里さん

【進藤】 ドイツからお客さんを鹿屋に連れて行ったことがあるが、結局車がないとどこにも行けない。交通費が高つくので前回は大隅地域レンタカー無料プランを使ってもらった。



樹南九
 代表取締役
山下 伸也さん

ランドであり、同じ人参でも長崎のものが高い。鹿屋は生産物はあるがブランドになっていない。ブランド化や宣伝をパッケージにしてやれば効果的。また、宿泊施設が無いのはネックであるが、観光客誘致はきつかけが必要。例えば田舎であることをアピールすればいい。

はアピールが足りない。想いを地元に還元したい人は多いと思う。そういう人にアプローチをすべき。



（株）アイ・ビー・キャピタル
代表取締役
ほんぼう
本房 周作さん

【吉岡】案内や看板、無線LANといったインフラの用意も必要で特に英語の案内板は大切。海外に行くがアクセスが違う。コンパクトシティになっており街が凝縮されている。鹿屋は面積が広すぎるので、街としての要素がばらばらだ。また都市部にアンテナショップなど、鹿屋の情報がとれるところが必要では。



九州大学大学院
助教
ひろあき
吉岡 宏晃さん

【吉村】かのやばら園内でカンパチが食べられるなど、道の駅のようなものがあればリピーターも増えると思う。体験できたり子供たちが遊べる大きな遊具もあれば、景色が良い場所な

～意見交換会を行いました～

かのや 故郷への想いを 地方創生の ヒントに



全国各地で人口減少対策や地域活性化策などが課題となっており、国をあげて地方創生に取り組んでいるところです。本市でも、現在これらの課題解決に向けた「総合戦略」の策定を進めています。策定にあたり、幅広い意見を聴くことが重要であることから、東京・大阪・福岡等、都市圏で活躍する本市にゆかりのある方々と意見交換を行い、外からの視点で本市の魅力や課題を把握するとともに、地方創生を進めるための意見等をいただきました。

問 市政推進課（3階） ☎ 31-1125

ので癒しにもなる。田舎の体験や良さは都会の人にとって魅力



ママデザイン
吉村 真由美さん

である。

【大塚】地元の人は悪いところ目がつくが、自分たちから見ると戦争遺跡など、こんなものもあるのかという感じである。やり方はいろいろあるのではないか。かのやばら園、戦争遺跡など観光地と相乗効果を図って

いくべき。ただし運送費はネットワークである。



岩田産業(株)
6次化産業支援室 室長
大塚 武幸さん

スポーツを通じた
まちづくりについて



食楽酒場のだや
たけし
野田 文志さん

【吉村】佐多岬などがありツーリングの人は多い。ゲストハウスとして閉校した学校などを利用できないか。美味しい食事ができて、安く泊まれるところがあれば。

【吉岡】垂水から実家がある高隈まで自転車帰った。桜島の灰が厄介である。ロードコースをしっかりと決めて常に掃除をやるぐらいでない。



西日本新聞社
とりごえ
鳥越 博文さん

【鳥越】ツール・ド・おおすみなど自転車も良いが一日だけのイベントではダメである。普段からの活動が必要。そうすれば大会以外でも人は来る。健康ブームでもありスポーツへの参加、関心は高い。

鹿屋・大隅の 活性化について

【田野邊】 全国で事業をやっているが、鹿児島・鹿屋は他県等と比べて閉鎖的。事業をやるにしても制約が多い気がする。



(株)住宅性能評価センター
代表取締役社長
たのべゆきひろ
田野邊 幸裕さん

【米重】 「健康のまちづくり」を提案したい。例えば、10分で1kmのウォーキングを推進してはどうか。鹿屋は田舎なのに安全に歩く場所がない（東京のような歩道がない）ので、例えば輝北の上場公園に1周1kmのコースを作って、安全にウォーキングしてもらい、景色も楽しんでもらうのはどうか。



拓殖大学
准教授
米重 修一さん

【米倉】 魅力はたくさんあるが、うまく情報発信ができていない。産業がないと移住定住の促進ができないと思う。

Tokyo



7月29日、東京都内で関東在住の市にゆかりのある12人の方と中西市長との意見交換を行いました。

会では中西市長が「これまでも地方の自治体においては、地方の活性化に取り組んできましたが、人口が減少する中でなかなか効果的な政策が打ち出せていないのも事実です。ぜひ鹿屋を離れた皆さんに外から見た目で鹿屋の売りや課題について意見をいただければ」と挨拶しました。

出席者からの主な意見は次のとおりです。



【宮園】 文化面について、鹿児島にこだわって地元で頑張っている音楽家もいるが、あまり評価されていないのが残念。

【宮内】 産業振興については、今ある産業の収益力をどう伸ばしていくか、ベンチャーを含めた企業誘致ということになると思う。

【中島】 集客力の高いイベントとリンクしてPRした方が効果的。

【永山】 人を呼び込むためには、ブランドと強いメッセージ性が必要。



一般社団法人 移住・交流推進機構
総括参事
ちかこ
後藤 千夏子さん

【後藤】 移住施策は、若者・子育て世代にターゲットを絞っている自治体がほとんど。移住施策の柱は①情報発信、②仕事の紹介・マッチング、③地元の受け入れ意識の醸成、の3つ。この自治体も良いパンフレット、ホームページを作ってPRしているが、それだけではダメ。広く呼びかけるのではなく、ターゲットを絞ってやるべき。また、地元に残っている両親に就職情報を送るのも有効。



アートスペース羅針盤
代表取締役
岡崎 こゆさん

【岡崎】 IT企業やデザイナーなどを誘致できないか。インフ



日本マイクロソフト(株)
シニア・アカウントマネージャー
米倉 寛子さん

【前田】 鹿屋の特産物を聞かれても答えられない。ブランド化されたものがないので、「鹿屋の黒豚」などでブランド化を図って大々的にコマース化する



経産省 航空機武器宇宙産業課
係長
みつひろ
宮内 光弘さん



(株)ロックス
代表取締役
なかしま
中島 一郎さん

ラさえ整ってれば、田舎でも仕事はできる。

【宮内】 雑誌「るるぶ」で鹿児島県の観光地ランキングを見たが、50位以内に大隅が入っていない。

鹿屋でブランディングできるものは？

【米倉】 ふるさと納税に関して、鹿屋の両親を通じてアプローチしてみようか。また、英語特区などを生かして、教育や子育てをブランド化・差別化すれば、若い世代・子育て世代には良いアピールになると思う。

【田野邊】 観光で来ても食べ物を紹介してくれるところがない。食に関して、一つに特化するよりも、総合力でPRした方がいいのではないかと。また、吾平山上陵は大隅の宝。もっとアピールすべき。



ジェットスターグループ
マーケティング&PR本部長
永山 健作さん

【永山】 ブランドの考え方に「価格と質のバランス」がある。認知度も高めた後、実際行動してもらったためには、「価格と質



農水省 食料小売サービス課
課長補佐
松尾 佳典さん

のバランス」が重要となる。

【松尾】 鹿屋は日本でも有数の畜産のまちだと思うが、ブランドイメージはない。もし畜産を売りにするのであれば、鹿屋に行かないと食べられないものを作り、それを食べさせるところを常態化させる必要がある。畜産物はアピール性が高く、成功すると大きいがそれなりの覚悟も必要。



(株)すんくじら本舗
代表取締役
繁昌 忠浩さん

【繁昌】 鹿屋の飲食店には美味しい所がたくさんある。しかし、都市部向けのアプローチの仕方（営業が下手なので、思ったより評価が得られていない。都市や鹿児島市などから食べにきてもらう仕掛けも必要。

その他

【後藤】 移住相談イベント等を

都市部で実施する場合には、近隣自治体や県との連携も視野に入れて検討すべき。単独では難しい。また、地元企業・農林水産業・商工会・金融機関と連携して、いかに地域に埋もれている求人情報を掘り起こして外に出していくかが重要。また、地元住民とも連携して、地元がどのような人材を求めているか把握すべき。

【松尾】 東京オリンピックまでの5年間は外国人観光客が確実に増えるので、大隅としてどうするか、そろそろ考えないと対応が間に合わなくなる。



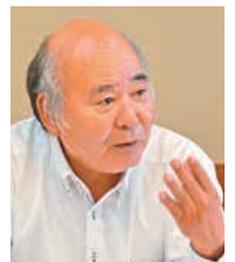
明治大学
学生
宮園 唯さん

【宮園】 教育を全体的に底上げしてほしい。

【繁昌】 豚ばら丼について、各店独自にやるのもいいが、統一性があった方が競争も生まれていいと思う。そのためには、「鹿屋の豚ばら丼はこれでいく」というリーダーシップが必要。丼にすると油っぽいので若い人にはいいが、高齢者にはキツイ。ダシで食べる豚ばら丼なら高齢

者も食べられる。

【前田】 地元から外に出て家族を持ったなら、なかなか地元に戻れない。いかに地元の若者を定着させるかが大事。また首都圏の活動も市民に紹介して欲しい。



(株)アイシンコーポレーション
代表取締役

前田 義美さん
(関東かのや会 会長)

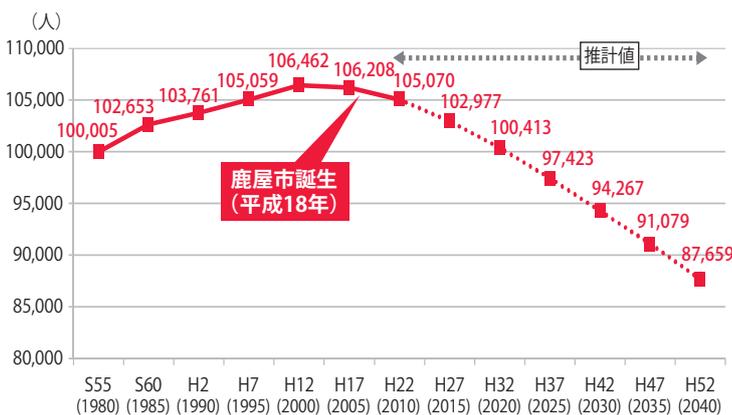
減り続ける総人口

統計から見る鹿屋市の課題①

本市の人口は、平成12年をピークに緩やかな減少傾向となっていますが、このまま推移すれば、平成52年(2040年)には、約8万7千人まで減少すると推計されています。

このまま人口減少が進んだ場合、地域経済の衰退や社会保障制度の維持が困難になるなど、地域に様々な課題を生じさせることが懸念されています。

【総人口の推移と将来推計】



資料：平成22(2010)年までは総務省「国勢調査」

※平成27(2015)年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25.3.27公表)」



Osaka Prefecture



7月30日、大阪府内で関西在住の市にゆかりのある10人の方と中西市長との意見交換を行いました。会では市長が「前日の東京では厳しい意見というよりも鹿屋が何をしているかわからない、目に見えないという意見をいただきました。そのような中でどのようなアクションを起こせば大阪や東京から足を運んでもらえるか、また企業立地してもらえるかなど、きたんのない意見を頂ければ」と挨拶しました。出席者からの主な意見は次のとおりです。

外から見た鹿屋、ふるさとへの思ひこつ

【長田】 鹿屋の良いところは、良い意味で変わらないところだが、欠点でもある。



宝塚医療大学 助教
長田 則子さん

【柿窪】 鹿屋に初めて行ったとき、遠いと感じた。アクセスは



大阪府立大学大学院 教授
かみほろ あきはる
上木 昭春さん

決してよくない。鹿屋でイメージできるものがない。観光地もない。ただし広い台地は大きな財産だと思う。

【上木】 鹿屋には、森殿、田の神様など、おもしろい歴史自然がある。こういうものに光を当ててもおもしろいと思う。また、吾平山上陵や高隈山をもつ



デイサービスセンター おおぎの郷 トレーナー
蔵ヶ崎 みさとさん

【蔵ヶ崎】 交通が不便。もう少し高齢者に配慮した支援があってもいいのではないか。

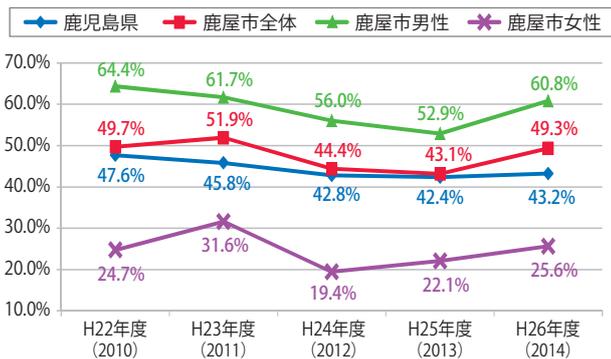
【畑中】 大阪の寿司チェーン店が鹿屋の米と紅はるかを使用したという話を地元で知っていましたが、対応できないということが話の流れ。大阪に比べて鹿

統計から見る鹿屋市の課題②

若い世代の流出

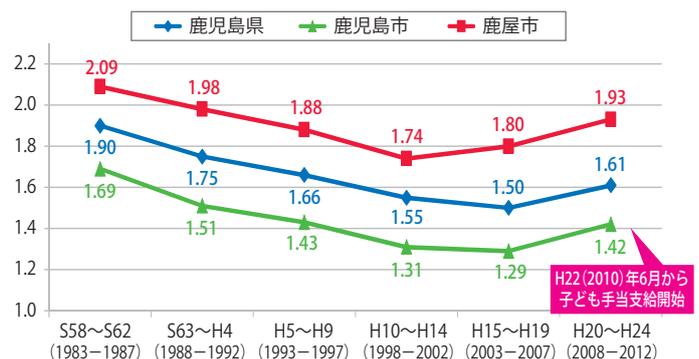
高卒就職者の県外就職割合をみると、市全体では5割程度で推移し、県と比較すると高い水準となっており、本市の人口減少の要因の一つになっていると考えられます。将来的な人口減少を抑制するために、若い世代の市内定着が大きな課題となっています。また本市の合計特殊出生率(平成20年～24年)は、1.93で県平均よりも高い数値となっていますが、人口を維持するために必要とされる2.07は下回っており、少子化傾向が続いています。

【高卒就職者の県外就職割合】



資料：文部科学省「平成22～26年度学校基本調査」

【合計特殊出生率の推移】



資料：厚生労働省「人口動態統計」

※合計特殊出生率：15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したものを。

屋の人はまじめだが、「私がやります」という強い気持ちが見えない。



(株)エヌディエス
取締役
中務 正幸さん

【中務】 鹿屋といえば体育大学。体育大学には良い施設があるので、全国のトレーナーやスポーツ選手がそれを目当てに来るような仕掛けをするべき。アスリート食堂もよく耳にするが、そこでアスリート食を学びたいという所までは至っていない。



なぎさ監査法人
代表社員
安山 寿祥さん

【安山】 鹿屋は大隅の中では存在感があるが、全国から見たら特色が見えにくいのかなと感じる。人に話すときに、自衛隊と体育大学以外に伝えるものがない。

【中礼】 大隅は一つである。市政10周年を記念して、大隅サミットを開催したい。また、食料基地であることを生かすべき。

アンテナショップもいいと思う。



沢井製業(株)
執行役員
榊 真喜夫さん

【榊】 大阪の人と鹿屋の話をして、9割強は鹿屋を知らない。

鹿屋単独では難しいので、食、ロケット基地、史料館など、大隅全体でもっとPRや物産の販売などに取り組んで欲しい。



かのや篠原
店主
篠原 徳行さん

【篠原】 大隅の中では垂水の情報が早く伝わってくる。情報量が大事。かのやファン倶楽部をもっとマメに更新したり、もっとフランクな感じにしてもいいと思う。

鹿屋の売り、ブランディング できるものは何か？

【安山】 眺めのいいところもあるので、マラソン大会があってもいいのではないか。

【畑中】 福岡からのバスツアー

でサクラクレパスの工場見学があった。そういうのも良いと思う。



(株)コモンプロダクツ
代表取締役社長
柿窪 浩二さん

【柿窪】 色々ありすぎて的が絞れていない感じがする。

【上南木】 シラス台地が特性ではないか。サツマイモや落花生も「シラス台地の恵み」である。また、風光明媚なところに宿泊施設がない。高須、浜田をビーチリゾートに開発してもいいのではないか。自然を生かしたスポーツイベントもいいと思う。



川西市選挙管理委員会
委員長
中礼 思無哉さん
(関西鹿屋会 会長)

【中礼】 薩摩半島側に大隅半島の案内板を立てたらどうか。

【篠原】 大隅の良いものを一括して仕入れて売ってくれるところがあったらいい(和歌山の「とれとれ市場」みたいなもの)。

【中務】 健康と鹿屋体育大学を絡めて何かできないか。

人や企業を 呼び込むための アイデアについて

【長田】 仕事があれば、今すぐにも鹿屋に帰りたい。また、エアメロは宣伝をうまくやったら、もっと人が来ると思う。

【中務】 鹿屋体育大学には、選手をサポートするトレーナーを育成する場がない。

【安山】 移住、観光など、目的によって必要な情報は異なるので、情報発信はきめ細かくやるべき。

【中礼】 企業等から進出の相談があった時は丁寧に対応すべき。



(株)サクラクレパス
取締役
畑中 一孝さん

【榊】 本土最南端の佐多岬や、自然、食などを絡めて大隅全体で何か企画してほしい。人を呼び込むためには宿泊施設も必要。

その他

【長田】 鹿屋では里帰り出産ができず、鹿児島市で出産する人が多いと聞く。

【中礼】 広報かのやを県外出身者に送って欲しい。

【畑中】 人材育成、物流費、設備投資への支援をお願いしたい。

地方創生に 向けた 今後の取組



中西 茂市長

今回の意見交換会において、地元では見えないこと、気づかないこと、当たり前すぎて見落としがちなことや、本市を活性化させるためのアイデアなど、様々なご意見をいただきました。これらの意見を今後の人口減少対策や地域活性化策などに活かしながら、ご参加いただいた皆様をはじめ、ふるさと鹿屋を離れて暮らしている方々など、全国に向けて鹿屋の魅力をしっかり伝えられるように情報発信を行っていききたいと思います。

街コサト スクラップ

みんなのイマをパジャ!!



戦後70年

戦争の悲惨さと 命の大切さについて考える

8月9日〜18日までリナシ ティカのかのやで、戦後70年特別 企画展「鹿屋の記憶」が開催されました。

これは、市内3つの海軍飛行場の誕生から終戦後の進駐軍上陸までの写真や資料などの展示を通して、命の大切さや平和の尊さについて考えてもらおうと行われたもの。

9日はオープニングセレモニーが行われ、テープカットが行われた後、中西市長が「鹿屋は真珠湾攻撃について話し合われた『鹿屋会談』が行われ、また戦後初めて進駐軍が本土に上陸した地です。企画展を通して平和について考えてほしい」と挨拶しました。

また期間中は15日に特攻隊員をテーマにした歌語り「万歳峠」、18日には米軍機に搭載されたカメラの映像公開を実施。参加者は真剣な表情で見入っていました。

一部の展示物は9月30日まで、串良ふれあいセンターで展示されます。



平和へのメッセージを発信 かのや未来創造プログラム〜平和の花束2015〜

8月18日、リナシティカのかのやで「かのや未来創造プログラム〜平和の花束2015〜」が開催されました。これは、平和や人権について考え、多くの特攻隊員が出撃していった鹿屋の地から平和のメッセージを届けることを目的に行っているもの。

第1部では、平和へのメッセージコンテストとして、昨年の倍となる応募総数1,465点の中から最優秀賞に輝いた3作品の表彰と本人による朗読を実施。第2部では、鹿屋の語り部による戦争体験談や特別講演が行われ、戦争のない平和な世界の実現に向けて発信しました。

終戦の日に恒久平和を誓う

8月15日、小塚公園慰霊塔前広場で終戦記念日の集いが行われました。

これは戦争の歴史を次代に語り継いでいくことを目的に、鹿屋航空基地史料館協力が毎年行っているもので、今年で20回目。

当日は旧海軍関係者や市民など約20人が参列。国歌を斉唱した後、参加者全員で黙祷し、節目の戦後70年に改めて戦没者の冥福を祈り、恒久平和を誓っていました。

光の中で伝統芸能を楽しむ



8月1日、吾平中央公園で「第2回美里あいら伝統芸能祭」が開催されました。

当日は持田棒踊り、そば切り踊り、吾平八月踊りといった吾平の伝統芸能のほか、保育園児の演技や地域女性団体の踊りなどが披露されました。会場を訪れた大勢の観客は、会場を彩る七夕飾りや幻想的な竹灯籠の明かりの中で、伝統芸能に熱心に見入っていました。

鹿屋体育大学とMBCが連携を密に



8月4日、鹿屋体育大学で、同大学と(株)南日本放送(MBC)との地域貢献事業に関する連携協力協定の調印式が行われました。

これは地域のスポーツによる発展と住民の健康増進に寄与することを目的とした番組制作と放送事業に関して連携するために締結されたもの。今後、スポーツを通じた地域活性化や健康増進の更なる啓発が期待されます。

「関東串良会」総会



7月19日、東京のスクワール麹町で「関東串良会」総会が開催され、約100人の会員の出席がありました。

総会後の抽選会では、ふるさとから提供された焼酎や農畜産物のお土産を獲得するたぐいに歓声があがりました。また、全国大会初出場のバレーボールチーム「串良クラブ」への支援活動もあり、多くの会員から寄附が寄せられました。

吾平の魅力を再発見



8月9日、吾平町内で「吾平史跡巡り」が開催されました。

当日はまち歩きの人達として知られる東川隆太郎さんが講師として参加し、吾平町に数多く残る史跡の中から鶏戸神社・吾平駅跡などを巡り、それぞれにまつわる歴史などについて解説。

参加者は、講師の話に熱心に聞き入り、吾平の魅力を再発見していました。

被害を最小限度にとどめるために



8月27日、西原4丁目の土砂災害警戒区域・急傾斜地被害想定区域で、「西原4丁目地区土砂災害避難訓練」が行われました。

これは土砂災害が発生した時の被害を最小限にとどめることを目的に行われたもので、地域住民や市、消防、警察など関係者76人が参加。

参加者は、緊張感を持って真剣に訓練に取り組んでいました。

スポーツ

威勢の良い掛け声が響く



8月6日から8日まで、市体育館で高校生を中心とした空手道交流事業が行われました。

合宿には、全国高校総体団体、個人で優勝した浪速高校をはじめ、九州各地の強豪校や地元から19チーム延べ約620人が参加しました。

参加チームは、暑さに負けない気合のこもった掛け声を響かせながら、日本一の技術を学んでいました。

夏休み農業体験ツアーで農業に触れる



8月18日、「夏休み農業体験ツアー」が行われ、市内の小学6年生38人が参加しました。これは、農業者海外研修事業の参加者で組織されている雄飛会が、子どもたちに農業への関心を持つてもらおうと、夏休みを利用して、毎年開催しているもの。

ツアーでは、小雨の降る中子どもたちは牛の乳搾りや芋掘りなどを実際に体験。農業に触れる貴重な1日となりました。

イベント

伝統の刀舞く子どもの健やかな成長を願って



8月2日、高須町で祇園祭おぎわんざが行われました。

波之上神社おきなで厳かに神事・舞奉納が行われた後、刀、弓、長刀、田の神、鬼神の各舞が町内を巡行しました。

舞うたびに田の神や鬼神が、健やかな成長を願って観客の子どもを追いかけ、子ども達は泣きながら逃げ回っていました。

当日は町内外から多くの観客が訪れ、伝統の祭りを楽しんでいました。

式典



「新米イクヒカリ」初出荷

8月4日、JA肝付吾平町で「美里吾平新米イクヒカリ出発式」が行われました。これは収穫の無事への感謝と今後の販売促進を祈念して開催。吾平地域のイクヒカリは、昨年、日本穀物検定協会による食味試験で、早期米として県内で約30年ぶりにAランクを取得。出席した生産農家は「冷めてもおいしさが持続し、おにぎりに最適」と紹介していました。

星塚敬愛園で夏祭り納涼大会

7月30日、星塚敬愛園で夏祭り納涼大会が開催されました。

この祭りは、入所者と地域住民との交流を深めるために、毎年開催されているもの。

会場には手づくりの露店が並び、ステージでは、入所者の歌や職員の踊りのほか、歌手の大江裕さん、中村美津子さんの歌謡ショーも行われました。最後は夜空を鮮やかに彩る花火も打ち上がり、夏祭りを楽しんでいました。

寄贈者に感謝状を贈呈

8月3日、大始良小・中学校で、両校卒の山下幸一さんへの感謝状贈呈式が行われました。

これは、5月に山下さんが市に寄附をされた2,000万円のうち700万円が両校の教育活動として配分され、大始良小へは図書、大始良中へは楽器と図書の購入費に充てられたことにより行われたもの。

大始良中では、感謝の意を込めてジャズバンド同好会による楽器演奏も行われました。

災害に備えて協定を締結



8月4日、市内22の郵便局と市の間で災害時の相互協力に関する協定が締結されました。

これは災害時において相互に協力し、災害対応をより円滑に遂行することを目的に締結されたもの。この協定の締結により、災害時の迅速な対応と、避難所で臨時的な郵便局業務を機能させるといった避難者の生活環境の向上が期待されます。

表敬

韓国の小学生らが鹿屋を満喫



8月3日、韓国の山清郡にあるガンディ小学校の児童ら10人が市役所を表敬訪問しました。児童らは、7月30日から修学旅行として市内に滞在し、鹿屋の食と文化を堪能。

この日はそれぞれに分かれてホームステイをする日とあって、受入家庭との「民泊対面式」も行われ、元気づけぱいの子どもたちは、受入家庭との交流に胸を弾ませていました。

女子ソフトボールで全国大会へ



8月4日、中学生女子ソフトボールクラブチーム「大隅レッドエンジェルス」の監督、選手が市役所を表敬訪問しました。

これは同チームが「第15回全日本中学生女子ソフトボール大会鹿児島県予選大会」で2連覇し、全国大会に出場することから行われたもの。

選手らは「昨年より良い結果を残したい」と全国大会への抱負を述べました。

合宿中の2チームが訪れる



8月12日、鹿屋体育大学女子バレーボールチームと合同合宿中のVチャレンジリーグ大野石油オイルズ（広島市）と台湾バレーボールチームの監督や選手6人が市役所を表敬訪問しました。

大野石油オイルズは5年連続、台湾チームは2年連続の合宿。市から激励品として台湾チームにバラグッズ、大野石油オイルズに黒豚3kgが贈られました。

鹿屋工業高校の生徒2人が快挙



8月3日、鹿屋工業高校の益山麗斗さんと田中一宇さんが、市役所を表敬訪問しました。益山さんは6月に行われた「高校生ものづくりコンテスト」で優勝し、11月に開催される全国大会に出場することから、また田中さんは難関の「平成27年度測量士」に県内で唯一合格したことから行われたもの。二人は今後も得意分野を伸ばしたいと抱負を述べました。

柔道で全国大会へ



7月31日、鹿屋東中学校の柔道部の監督、選手らが市役所を表敬訪問しました。

これは同部が「平成27年度鹿児島県中学校総合体育大会柔道競技大会」において男子団体戦で4連覇し、個人でも男子が2階級、女子も1階級で優勝し、九州大会と全国大会への出場を決めたことから行われたもの。選手らは「全国大会でも優勝したい」と抱負を述べました。

森林を取り巻く現状

森林は、国土の保全や水源のかん養、地球温暖化の防止などの公益的機能を有し、私たちが安全で安心して暮らせる社会を支えるとともに、再生可能な資源である木材の供給を通じて、山村地域における循環型産業を創造することが期待されています。

こうした多面的な機能を継続的に発揮させるためには、林業生産活動を通じて、森林を適切に整備し、健全な森林として次世代に継承する必要があります。

本市の森林状況

鹿屋市の森林面積は約2万3千ヘクタール、総土地面積に占める割合は約51%となっています。この森林のうち、国や県、市などが管理する国有・公有林は約4割程度で、残りの6割が個人や会社などが所有する民有林です。

森林には、スギやヒノキなど木材生産を目的として人が植樹した人工林と、主に自然の力によって育った天然林に分け



森林は木材やキノコなどの生産の場のほかに、湧水や洪水を緩和しながら水の育成、土砂災害の防止、地球環境の保全など、さまざまな恵みを与えてくれます。そして、「森は海の恋人」といわれているように、豊かな森林が川を介して豊かな海を育みます。川の上流域の山を保全することが川の下流域に暮らす人々の暮らしを守ることにもつながり、こうした森林資源をよりよい状態で次世代に引き継ぐためにも森林の整備を進めることが重要です。

今回は、森林の抱える課題や豊かな森を取り戻そうとする取組を紹介します。

園市農林水産課 ☎31-1117

つながり 森林づくり

登見の丘からの風景



高隈山に流れる小川。森林に降った雨はミネラルを含んだ水となり、海まで流れていく。

森林の役割

水を守り、土と山を守る

葉や木の根、地面に落ちた腐葉土などに水を蓄えることで洪水や土砂崩れを防いでくれます。

地球の大气を守る

空気中の二酸化炭素を吸収し、酸素を排出することによって、地球温暖化を防いでくれます。

生物の多様性を守る

微生物から高等生物まで多種多様な生命を支え、貴重な遺伝子資源を守ってくれます。



Before

林内に光が差し込まない人工林。下層植物が育たず、木の成長も悪く、災害等の原因となり森林の多面的機能は低下する。



After

間伐など整備が行き届き、太陽の光が根元まで届く理想的な人工林。さまざまな低木や植物が生い茂り、表土の流出を防ぐ。



られます。本市における人工林の割合は62%となっており、他の地域と比べて高いのが特徴です。(全国平均41%、県平均49%)

この本市の約半数を占めるスギ・ヒノキの人工林の多くが利用期を迎えており、今後、大型木材加工施設や木質バイオマス発電施設、海外への木材輸出等により、木材需要が増加し、人工林の伐採量は大きく増加することが予想されています。

一方で、木材価格の低迷による整備意欲の低下や、林業従事者の減少などにより、手入れが行き届かず放置された人工林が増加し、公益的機能の低下が懸念されています。また、人工林の多くは、整備を行うために必要な林道や作業道の整備が困難な状況となっていることから、市では、国、県、森林組合などと連携して、森林再生や林業振興を図っていきます。



増加する木材の需要

新たな木材利用

新たな建築資材として注目されている繊維方向が直行するように積層接着したCLT（直行集成材）の実用化に向けた取組が進められています。



※CLTは十分な強度を有する合成材で、ヨーロッパを中心に大型施設や中層ビルなどで使用され、生産量を伸ばしています。

木材輸出

近隣の志布志港より東アジアへの木材輸出が行われています。



木質バイオマス発電

生産活動で発生する木くずを発電の原料として利用。資源の安定的活用が行われ、持続的な林業経営の確立が図られます。現在、本市からも木質バイオマス発電燃料が搬出されています。



その7

文化を伝える
伝統芸能を支え、環境・自然教育の場を提供してくれます。

その6

人に安らぎを与える
森林浴や散策、レクリエーションの場として、人に安らぎを与えてくれます。

その5

快適な環境をつくる
さまざまな汚染物質や騒音を吸収し、景観を保ち、都市の温暖化を緩和してくれます。

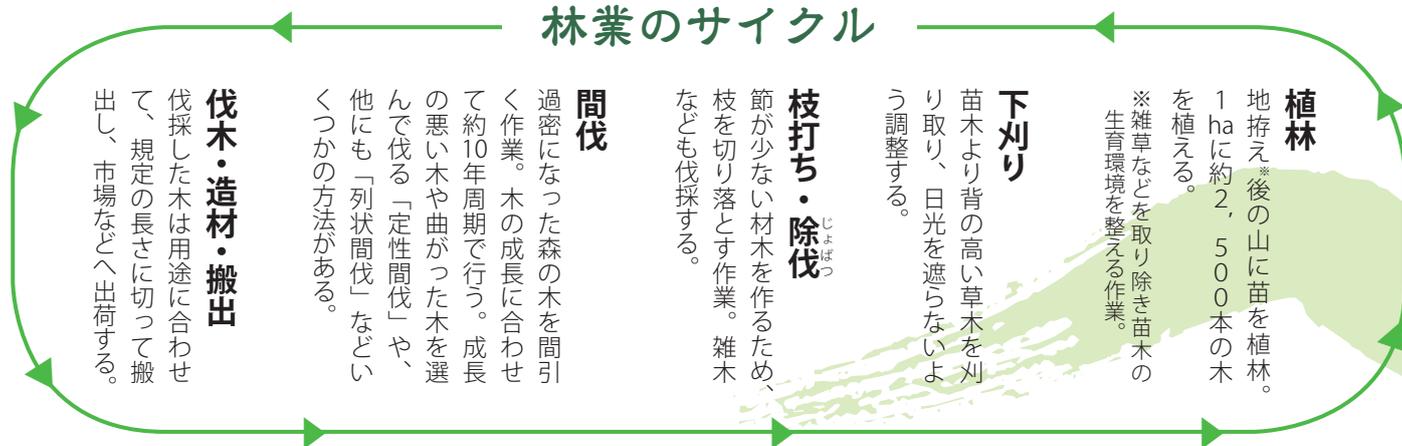
その4

林産物を供給
木材や紙の原料、山菜などの食料、薪や炭といった燃料など、さまざまな産物を供給してくれます。



- ① 植林
- ② 造材
- ③ 運材
- ④ 伐木

林業のサイクル



誰もが綺麗と思える山をつくる

有馬林業
有馬 孔駿さん
(吾平町麓・29歳)

私 が林業に携わって今年で10年になります。一言で林業と言っても、その仕事内容を知っている人は少ないと思いますが、主にスギやヒノキの間伐の仕事をしています。初めは辛くて何回も辞めたいと思いましたが、今は誇りを持って一生向き合っていこうと思っています。鹿屋には整理が行き届かず、荒れた山林が沢山あるので、これからは、林業を知らない人が見ても「綺麗な山だな」と思ってもらえる山作りをしていきたいです。

また、日頃から支えて下さる方々に感謝しつつ、鹿屋の林業の未来に貢献できるよう努力していきたいと思っています。

森林を守る人たち

森林・林業の将来像

大隅森林管理署
署長 山口 輝文さん
(田崎町・48歳)



最 近耳にするようになった地方創生という言葉。これは地方が疲弊していることの現れでしょう。一方、地方には収穫の時を迎えようとする豊かな森林があります。鹿屋市では、この資源を利用しながら新たな森林を作る取組が始まりました。先人達が心血を注いで育ててきた森林資源を利用しながら、次の世代のために各機関が所有や行政の垣根を超えて連携し、将来にわたって持続的に利用できる森林を作り上げようというものです。それができた時、鹿屋市の森林は林業の再生のみならず地域の活性化に大きく貢献する存在になると期待しています。

7つの関係機関が連携！

8月11日、鹿屋市と国や県など7関係機関において、適切な森林整備を推進するため「鹿屋市豊かな森林づくり推進協定」を締結しました。

この協定に基づき、市有林の立木評価等の調査や長期施業計画の策定を行います。また、国有林や市有林などの効率的な森林整備が可能な範囲を「森林共同施業団地」として設定していきます。

具体的には、作業計画を作成し、施業の集約化、効果的な作業道及び中間土場の整備などに関係機関が連携して取り組んでいきます。

協定の期間は平成35年3月31日までで、その後延長できるものとなっています。



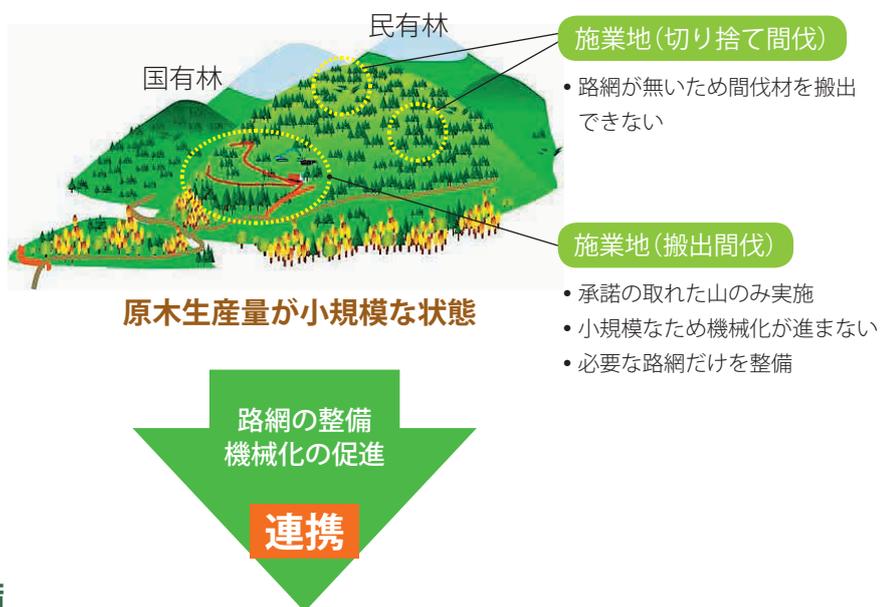
▲ 鹿屋市豊かな森林づくり推進協定

『森林の集約化』を進めます！

市では、現在、森林再生に必要不可欠な森林整備を進めるために、「森林の集約化」を進めています。

森林の集約化は、所有者が異なる小規模な面積の森林を取りまとめることで、計画的かつ効率的な森林整備が可能となります。また、集約化には、5年間の森林の施業および保護についての計画となる「森林経営計画」の作成が必要となります。この計画を作成することで、間伐などにおける造林補助金を受けられることから、森林所有者の負担を軽減して、森林整備を行うことができます。

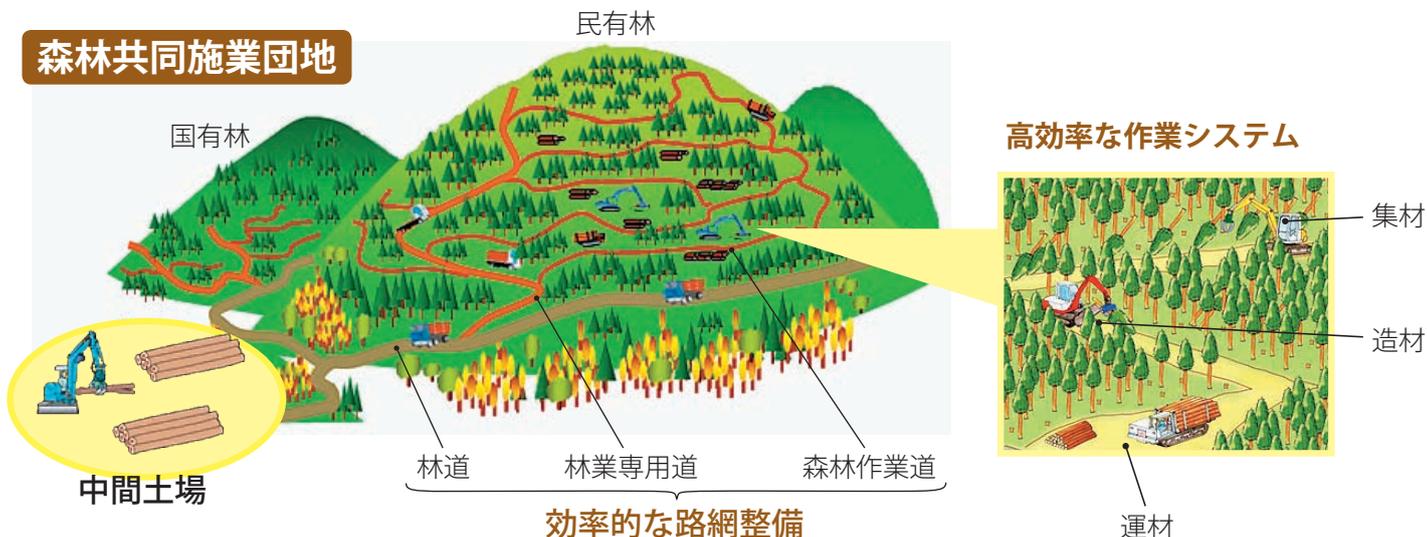
①集約化前の小規模な森林



②集約後の計画的で効率的な森林整備

面積規模に関わらず、国有林、民有林など所有者形態の異なる隣接した森林をまとめます。

おおむね25～30ヘクタール以上の森林を一つの団地とします。まとめた森林をエリアごとに分け、間伐などの施業を計画的に行い、資源として充実してきた森林を効率的に整備し、まとめて木材を供給していきます。



市では木質資源を最大限に活用して林業を再生していきます！

「空中給油機 KC-130」の訓練移転の動向

住民説明会を実施しました

7月11日から14日までの4日間、大始良地区学習センター、野里集落センター、田崎地区学習センター、中央公民館、西原地区学習センターの5会場で、空中給油機KC-130についての住民説明会を実施。4日間で296人の参加がありました。

住民説明会で出された主なご意見と、これに対する九州防衛局の回答をご紹介します。

問 市政策推進課（3階）

☎31-1125

◎訓練について

Q 現在示されている「離発着訓練」「地上給油訓練」「荷下訓練」が将来的に拡大され、鹿屋基地が米軍基地化すること
が絶対無いと言えるのか。
A 将来的にも常駐はしない。

Q 米軍機の夜間訓練は、午後10時までの説明であるが、米国に対して、夜の訓練は9時までに終了し、早朝の訓練は行わないことを強く申し入れることはできるのか。
A 夜10時までに撤収を含めて終了すると聞いている。

Q 米軍の訓練により、鹿屋基地の訓練時間が圧迫され、早朝や夜間に自衛隊の訓練がされるようになるのではないかと。
A 鹿屋基地の運用に支障を及ぼさないことが大前提である。

◎騒音について

Q 騒音の程度は、資料の数字だけでは分からない。実際にKC-130等が飛んできて音を体感することはできないか。
A 米側と調整したい。

Q 騒音問題は最も懸念される。米軍の訓練が鹿屋で行われることで、これまで以上に騒音がひどくなるのではないかと。
A 生活環境の面で負担を掛けていることは認識している。ただ、米軍の訓練の必要性を認識していただき、なんとかご理解いただきたい。

Q 鹿屋基地においては、P3Cの騒音もだが、回転翼（ヘリコプター）による騒音もある。
A 騒音で大変ご負担を掛けていることは承知している。

Q 鹿屋基地周辺には、**第一種区域**の告示後に建築された住宅への防音

工事を実施することはできないか。
A 今後どこまで広げられるか対策を考えていく。

Q 防衛省による第一種区域の基準75Wを、環境省基準の70Wに引き下げることはできないか。
A 努力していきたい。

Q 防音工事で設置し10年以上経過した機器で不備（故障）がある空調設備（冷暖房機、換気扇等）の更新、防音サッシの復旧等、速やかに対応して欲しい。
A 予算の獲得に努力をしていく。

Q 空中給油機KC-130、オスプレイは事故が無いと言えるのか。
A 安全であると認識している。

◎安全対策について

Q KC-130やオスプレイ、CH-53の回転翼機の飛行ルートはどうなるのか。
A 基本的な経路は、鹿屋基地の管制に従う。

Q 鹿屋基地で訓練予定の米軍は、基本的に日帰りというところであるが、米兵が鹿屋市街地を出歩くことはないのか。
A 天候不良等で戻れない場合、鹿屋基地内の宿舎に泊まることになる。場合によっては買い物に外出することもある。

◎地域振興策について

Q 沖繩の基地負担軽減について理解しているが、米軍の訓練実施により、鹿屋にとって何かメリットはあるのか。
A 理解をいただければ、再編交付金を交付することになる。

Q 住宅移転後の土地の買い上げや移転に伴い植林された平地（緑地帯）を整備して欲しい。
A 緑地帯の利用の仕方を変えるなど、現在、検討を進めている。

◎その他

Q 今回説明のあった訓練は、未来永劫続くのか。

A 期限は決まっていない。

Q 米軍の訓練移転は、基地周辺の町内会だけの問題ではないので、その他の地区でも説明会を行って欲しい。
A 今後、鹿屋市と調整させていただきます。

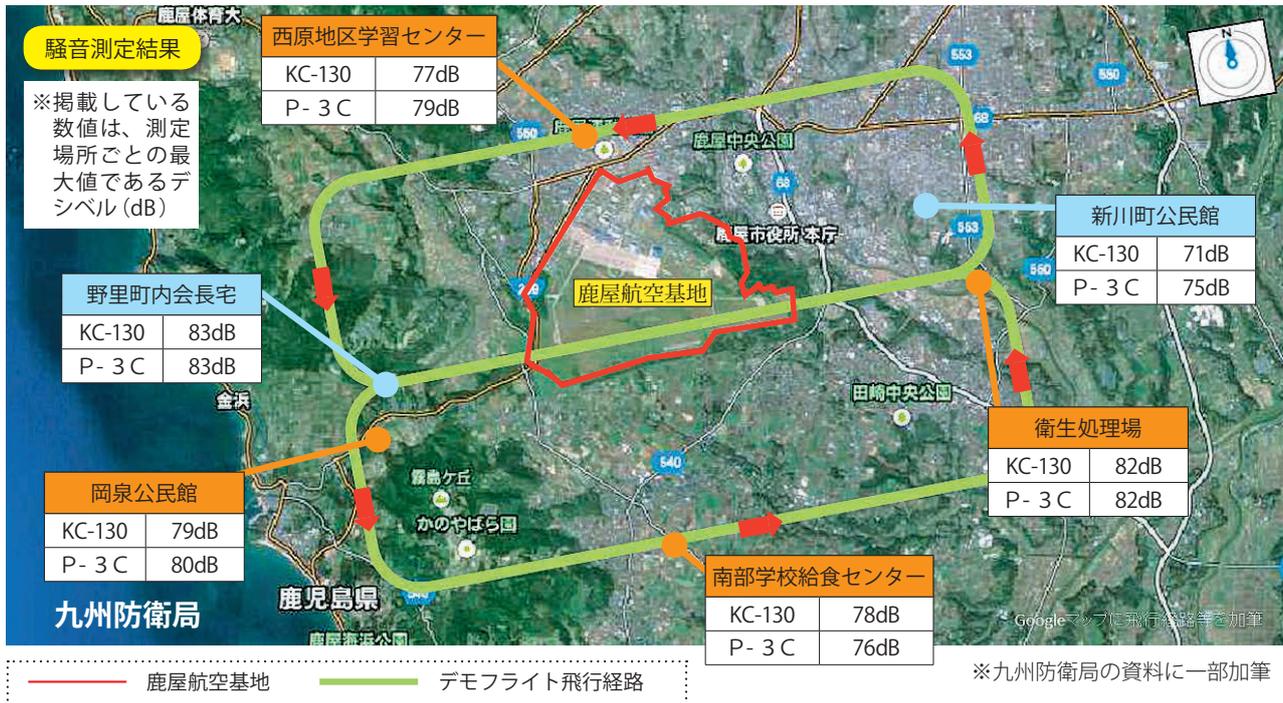
Q 説明会では、スライド等を使って分かりやすく説明して欲しい。
A 分かりやすく説明できるように工夫したい。

Q 万が一、事故が起きた場合の補償はどうなっているのか。
A 日本が25%、米国が75%を負担することになっている。

Q 米軍が日本で、鹿屋で訓練をする理由は何なのか。
A 普天間から岩国にKC-130を移駐させたが、これは沖繩の負担軽減の一環である。そして、ローテーション展開で鹿屋とグアムに訓練の一部を持って行く。市街地の中にある鹿屋基地のため、騒音の面で負担を掛けることになるが、訓練の必要性を認識いただきたい。

※第一種区域 住宅防音工事対象区域

※住民説明会の内容については、市ホームページにも掲載しています。



デモフライトの実施結果

8月24日、米軍の空中給油機KC-130と海上自衛隊のP-3Cのデモフライトが実施され、多くの皆さんが鹿屋航空基地周辺に実物を見ようと訪れました。

これは、市議会への説明、住民説明会での要望等を踏まえ、飛行の状況などをご自宅等で確認いただくために実施されたものです。

当日は九州防衛局が西原地区学習センター、岡泉公民館、南部学校給食センター、衛生処理場の市内4か所で騒音測定を行い、その結果、KC-130とP-3Cの騒音は同程度の数値でした。(上図)

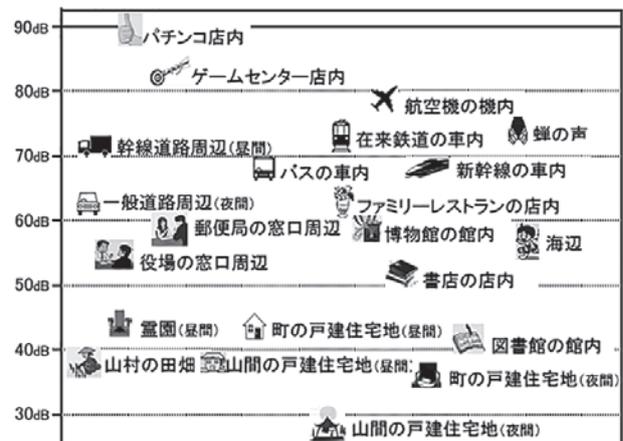
また、市が常設している観測地点の新川町公民館、野里町内会長宅の2か所でも、同様の結果でした。



空中給油機KC-130のデモフライトを見る人々 (野里町)

※上野町公民館及び新生市営住宅集会所の2か所に九州防衛局が常設している自動騒音測定装置は、70dB以上の騒音が5秒以上継続するとデータが記録されるという設定条件を下回ったため、騒音データは記録されませんでした。

騒音の目安 (地方都市・山村部用)



環境省ホームページより
(出典「全国環境研協議会 騒音小委員会」)

募集・申請

**女性の健康づくり講座
「足裏健康法と健康ラン
チ」の参加者を募集**

- ◎内容 足裏健康法の実技指導、食生活改善推進員による栄養価の高い料理の試食
- ◎講師 西牟田小枝子さえこ氏
- ◎日時 10月3日(土) 9時30分～12時30分
- ◎場所 市保健相談センター
- ◎定員 15人(定員になり次第締切)
- ◎参加料 無料
- ◎準備するもの 運動できる服装、タオル、飲み物
- ◎応募方法 直接又は電話
- ◎市保健相談センター
☎41-2110

**申良ふれあいセンター
嘱託職員を募集**

- ◎募集職種 申良ふれあいセンター事務員(嘱託職員)
- ◎募集人員 1人
- ◎雇用期間 11月2日(月)～平成28年3月31日(木)
- ※更新する場合有り
- ◎勤務場所 申良ふれあいセンター
- ◎勤務日 週5日勤務

- ◎職務内容 同センターの管理、運営業務、その他事務補助等
- ◎賃金 1110,000円
- ※通勤手当別途支給有り(2km以上)
- ◎就業時間 8時30分～17時
- ※厚生年金・社会保険・雇用保険に加入
- ◎対象者 普通自動車免許を有する人で、パソコンの基本操作ができる人
- ◎選考方法 面接
- ◎面接日 10月7日(水)予定
- ※時間は応募時に通知
- ◎面接場所 申良総合支所
- ◎応募方法 履歴書を直接持参又は郵送
- ◎応募期限 9月30日(水)
- ※必着

**「点訳奉仕員養成講習
会」の受講生を募集**

- ◎内容 目の不自由な人に文字や文章などをパソコンで点字に直し伝えるコミュニケーション手段についての講習
- ◎日程 10月6日(火)～平成28年3月1日(火)の毎週火曜日(計20回)

市申良総合支所地域政策課
〒893-1603
鹿屋市申良町岡崎2081
☎63-3111

- ※11月3日(火・祝)及び12月29日(火)は休み
- ◎時間 14時～16時
- ◎場所 リナシティかのや2階 ボランティア室
- ◎定員 10人
- ◎受講料 無料
- ※ただしテキスト代1,080円が必要
- ◎申込方法 直接又は電話
- ◎申込期限 9月24日(木)
- ◎その他 パソコンは市社会福祉協議会が準備

**かのやハッピーワーク
「パソコン活用講座」の
受講者を募集**

- ◎内容
- ◎場所 リナシティかのや1階 パソコン学習室
- ◎対象者 市内在住の勤労者又は退職者
- ◎定員 各日程いずれも20人(定員になり次第締切)
- ◎受講料 1,000円
- ◎応募方法 電話
- ◎応募期限 10月9日(金)
- ◎その他 託児が必要な人は、10月4日(日)までに電話で申込(託児料は無料)
- ◎場所 カピックセンター
- ◎参加料 1,000円
- ※5歳～12歳は500円、4歳以下は無料
- ◎応募方法 電話
- ◎応募期限 10月9日(金)
- ◎その他 託児が必要な人は、10月4日(日)までに電話で申込(託児料は無料)
- ◎カピックセンター
☎45-3288

日時	内容
10/3(土) 10:00～15:00	パソコンの基礎、インターネットの操作、パソコンの活用法、ワード(チラシ・ハガキの作成、写真の挿入等)
10/4(日) 10:00～15:00	エクセル(表作成、数式の入力等)、e-Tax(国税電子申告、電子納税、システムの活体験)

**「南米料理&BBQお
肉・ダ・ラティーナ」の参
加者を募集**

- ◎内容 南米のバーベキュー「シュラスコ」や「フェジョアーダ」、ガラナジュースなどを味わいながら、ブラジル、パラグアイの研修員と語り合うイベント
- ◎日時 10月12日(月・祝) 11時30分～14時
- ◎場所 カピックセンター
- ◎定員 30人(定員になり次第締切)
- ◎参加料 1,000円
- ※5歳～12歳は500円、4歳以下は無料
- ◎応募方法 電話
- ◎応募期限 10月9日(金)
- ◎その他 託児が必要な人は、10月4日(日)までに電話で申込(託児料は無料)
- ◎カピックセンター
☎45-3288

**鹿屋高等技術専門校の
職業訓練生を募集**

◎内容等

訓練科名	訓練期間	会場	定員	募集期限	選考日
ITビジネス科 K①(デュアル)	10月30日(金) ～平成28年2月29日(月)	鹿屋ビジネス専門学校(白水町)	20人	10月2日(金)	10月16日(金)
パソコン・実務科 K③	11月11日(水) ～平成28年2月10日(水)	スカイピースー寿教室(寿7丁目)	24人	10月9日(金)	10月27日(火)
介護・福祉科 (初任者研修)K④	11月17日(火) ～平成28年2月16日(火)	ヴィラかのや(寿8丁目)	20人	10月19日(月)	11月4日(水)

◎応募方法 電話連絡後、直接
申込

◎ハローワークかのや
☎42-4135

「介護者のつどい」「ほっと会」の参加者を募集

◎内容 介護についての悩みや苦勞を話し合うつどい

◎日時 10月20日(火) 10時～12時

◎場所 リナシティかのかのや2階 研修室1

◎対象者 在宅で高齢者を介護している家族 など

◎参加料 無料

◎応募方法 電話

◎応募期限 10月10日(土)



「JICAボランティア秋」のボランティアを募集

◎内容 「青年海外協力隊」「シニア海外ボランティア」の秋季募集

◎対象者

◎青年海外協力隊
満20歳～39歳の日本国籍を有する人

◎シニア海外ボランティア

満40歳～69歳の日本国籍を有する人

◎応募方法 応募用紙に必要な書類を添えて、青年海外協力会へ郵送

◎応募期間 10月1日(木)～11月2日(月)

※応募用紙はJICAホームページ(<http://www.jica.go.jp>)からダウンロード可能

問 JICAデスク鹿児島

☎ 099-221-6624

「マイナンバー制度説明会」の参加者を募集

◎内容 社会保障・税分野におけるマイナンバー制度の説明会

◎講師 鹿屋税務署署員、社会保険労務士

◎日時 9月29日(火) 14時～16時

◎場所 鹿屋商工会議所

◎定員 100人(定員になり次第締切)

◎参加料 無料

◎応募方法 電話

◎応募期限 9月25日(金)

問 鹿屋商工会議所

☎ 42-3135

10月1日(木)から鹿児島空港連絡バス(鹿屋～鹿児島空港間)の運行が変更されます!

●ダイヤの一部が東九州自動車道経由に!

現在、運行している往復12便のうち、次の往復4便が東九州自動車道経由となります。これに伴い、「旭原」バス停での乗降が可能になります。

また、空港行始発と空港発18時台の運行時刻が変更されます。

【東九州自動車道経由の往復4便の時刻表】

	東笠之原	東団地前	寿中央	市役所前	鹿屋	旭原	空港
空港行	5:28	5:30	5:32	5:39	5:50	6:00	7:15
	8:48	8:50	8:52	8:59	9:10	9:20	10:35
	13:48	13:50	13:52	13:59	14:10	14:20	15:35
	15:48	15:50	15:52	15:59	16:10	16:20	17:35

	空港	旭原	鹿屋	市役所前	寿中央	東団地前	東笠之原
鹿屋行	11:00	12:15	12:25	12:34	12:41	12:43	12:45
	13:00	14:15	14:25	14:34	14:41	14:43	14:45
	17:20	18:35	18:45	18:54	19:01	19:03	19:05
	18:40	19:55	20:05	20:14	20:21	20:23	20:25

●一部のバス停での乗降が可能に!

これまで全便において途中乗降ができませんでしたが、東九州自動車道経由往復4便と空港発最終便を除く便に限り、鹿屋市内～「霧島市役所前」・「ホテル京セラ前」間の乗降利用が可能になります。

【例】鹿屋市内から乗車した場合、「霧島市役所前」、「ホテル京セラ前」で降車できます。また、「ホテル京セラ前」、「霧島市役所前」で乗車し、鹿屋市内で降車できます。

問 三州自動車(株)鹿屋営業所 ☎ 65-2258

「薔薇王子」を募集

◎内容＝バラの似合う男性を探す「薔薇王子コンテスト」の参加者を募集

◎対象者＝市内在住又は市内に通勤・通学する人

◎募集人員＝若干名

◎任期＝11月23日(月・祝)から1年間

◎応募方法＝市商工観光課に置いてある応募用紙に必要事項を記入のうえ郵送、又はホームページ上から応募

※ホームページから応募する場合も写真データを添付

◎応募期限＝10月31日(土)

◎その他＝11月23日(月・祝)に選考会を開催予定

問 薔薇王子プロジェクト事務局 (市商工観光課内・2階)

〒893-8501

鹿屋市共栄町20-1

☎31-1150

<http://baranomachi.jp/>

kanoyabaraoj/



うなぎの採捕制限が行われます

県内に生息しているうなぎの資源保護のため、全長21cmを超えるうなぎの採捕制限が行われます。

◎採捕禁止期間＝10月1日(木)～12月31日(木)

◎採捕禁止区域＝鹿児島海区及び県内の河川等の内水面

※調査又は研究等のため、県知事の許可を得て採捕を行う場合には制限から除外

問 市農林水産課(2階)

☎31-1117



秋の全国交通安全運動が始まります

9月21日(月)から30日(水)まで、「ルールとマナー 乗せて走ろう 秋の道」をスローガンに秋の全国交通安全運動が実

お知らせ

施されます。

市内の交通事故の発生件数及び死亡者数は、昨年の同時期と比較すると、若干減少傾向にあります。高年齢者がかわる事故や交差点内での事故の割合が高い状況にあります。

悲惨な事故を防止するには、一人ひとりが交通ルールとマナーを守ることが重要です。家庭等で交通安全を呼びかけ、事故の無いまちづくりへご協力をお願いします。

問 市安全安心課(3階)

☎31-1124

「全国丼グランプリ」への応援をお願いします

鹿屋のご当地丼が、「第2回全国丼グランプリ」(全国丼連盟主催)に参加しており、最終選考にノミネートされました。

◎出場丼

○豚丼部門「かのや豚ばら丼研究会所属「陣力」(札元2丁目)の「鹿屋黒豚ばら丼」

○海鮮丼部門「市漁業協同組合直営「みなと食堂」(古江町)の「かのやカンパチ漬け丼」

現在、インターネット上で投票受付中です。豚丼23丼、海鮮丼25丼の頂点に立てるかは、皆さんの1票にかかっています。

スマートフォンやパソコンを持っている人は、全国丼連盟のホームページ(<http://don.oid>)へアクセスして、「ドン」投票をお願いします。持っていない人も、ぜひ一度食べに行ってみてください。

◎結果発表日＝11月10日(火)

※「いい丼の日」

問 豚ばら丼に関すること

かのや豚ばら丼研究会(市商工観光課内・2階)

☎31-1164

問 カンパチ漬け丼に関すること

市漁業協同組合直営「みなと食堂」 ☎46-3020



▲「鹿屋黒豚ばら丼」

▼「かのやカンパチ漬け丼」



10月1日は「浄化槽の日」です

浄化槽は、微生物の働きを利用して生活排水をきれいにする

装置です。

市では現在、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を目的として、生活排水の処理を行わない単独処理浄化槽等の廃止に向けて、合併処理浄化槽の設置の際に予算の範囲内で補助金を交付しています。対象地域にお住まいの皆さんは、ぜひご活用ください。

問 市下水道課 ☎31-1133

排水管の訪問業者に注意してください

「だいぶ汚れているので詰まるおそれがある」などと言葉巧みに清掃、修理する業者がいます。家庭の排水設備は、詰まることとが無いようにつくられていますので、支障のない限り清掃の必要はありません。

市の職員が突然訪問して簡単な検査や排水管などの点検を行ったり、清掃を勧めたりするなどの業務は行っていません。また業者に委託することもありませんので、きっぱりと断りましょう。

問 市下水道課 ☎31-1133

**下水道への接続を
お願いします**

公共下水道は、生活環境の向上と公共用水域の水質保全を目的に整備されています。排水処理ができる区域の人で、公共下水道へ未接続の人は、できるだけ早く下水道への接続をお願いします。

なお、個人の既存住宅で供用開始3年以内であれば、排水設備工事費の一部について補助金が交付されます。

◎補助金額(住宅1棟当たり)

供用開始	1年以内	2年以内	3年以内
汲み取り便所からの接続	8万円	5万円	3万円
浄化槽からの接続	6万円	3万円	1万円

※供用開始＝公共下水道工事が終了し、下水道へ接続できるようになった時のこと

問 市下水道課 ☎31-1133

「オータムジャンボ宝くじ」が発売されます

「オータムジャンボ宝くじ」の収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策など、地域住民の福祉向上に使われます。

くりにや環境対策など、地域住民の福祉向上に使われます。

◎販売期間 9月28日(月)～10月16日(金)

◎抽選日 10月23日(金)

◎価格 1枚300円

◎当選金 1等3億円、前後賞各1億円

問 県市町村振興協会

☎099-206-1001

**HTLV-1の検査及び
相談を行っています**

妊婦を除く高校生相当以上の人であれば、HTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルス1型キャリア)の抗体検査を鹿屋保健所で無料で受診することができます。

なお、検査は事前予約が必要です。ご注意ください。

また、相談も行っていますので、ご利用ください。

問 鹿屋保健所 ☎52-2106



国民文化祭

「アイドル進化論」市役所ロビーコンサート

◎内容 鹿屋の国民文化祭事業「アイドル進化論」から生

まれた、鹿屋と国民文化祭をPRするご当地アイドル「ガヴァメント・ワーカー」による楽曲披露 ほか

◎日時 9月25日(金) 12時15分～12時50分

◎場所 市役所本庁1階市民ホール

◎観覧料 無料

問 市生涯学習課(6階)

☎31-1138

**鹿屋看護専門学校の
学校祭「第8回白爛祭」**

◎内容 喫茶、血圧・身体測定、バザー、公開講座、リラクゼーション、オープンキャンパス

◎日時 10月3日(土) 10時～15時

◎場所 鹿屋看護専門学校

◎参加料 無料

問 鹿屋看護専門学校

☎44-6360



▲「第7回白爛祭」のオープンキャンパスの様子

**全国一斉!
「法務局休日相談所」**

◎日時 10月4日(日) 10時～16時

◎場所 鹿屋島地方法務局鹿屋支局(西原4丁目)

◎相談の内容

- ◎登記 土地・建物の売買・遺産分割等の相続問題、土地の境界問題、その他不動産登記関係全般
- ◎戸籍 出生・婚姻・養子縁組等の問題
- ◎供託 土地建物の地代家賃弁済のための供託等の問題
- ◎人権 いじめ、差別、家庭内暴力、家族間の問題等の人権問題全般
- ◎公証 遺言、会社定款等
- ◎相談員 法務局職員、公証人、司法書士、土地家屋調査士、人権擁護委員
- ◎相談料 無料

問 鹿屋島地方法務局鹿屋支局

☎43-6790

**大隅地域「福祉の職場
就職面談会」**

◎内容 福祉の職場の人材確保と就職希望者の求職活動を支援するために実施する、事業所の人事担当者や求職者との個別面談会、就職相談、情報

提供、各種相談コーナー設置

◎日時 10月15日(木) 13時～16時

◎場所 ホテルさつき苑(西原1丁目)

◎対象者 福祉職場へ就職を希望する人、来春卒業予定の大学・短大・専門学校生 など

◎参加料 無料

問 県社会福祉協議会福祉人材研修センター

☎099-258-7888

**旧海軍航空隊串良基地
出撃戦没者追悼式**

◎内容 太平洋戦争で亡くなった特別攻撃隊員を慰霊し、平和を祈念するための追悼式

◎日時 10月17日(土) 14時～15時30分

◎場所 平和公園慰霊塔前広場

※雨天の場合は、串良公民館別館大ホールで開催

問 市申良総合支所市民生活課

☎63-3112



Health Care

まちの 保健室



この検査で便に血液が混ざっていると、消化器のどこかが出血していることがわかります。出血が必ずしも「がん」によるものとは限りませんが、1次健診として簡単で手軽に受診できる便潜血法は、「大腸がん」の早期発見に有効とされています。

生活習慣と定期的な健康診断

私たちが食べた物は体内で消化・吸収され、栄養分をとった後の残りカスは体から出さなくてはなりません。食物繊維が少ない食事だったり、運動不足だったりすると便秘が悪くなります。便には発がん物質とされる物も含まれるので、長い時間たまっていると「がん」のリスクが高まります。

便秘にならない食生活や運動習慣、定期的な健診が「大腸がん」の予防につながります。平成28年3月末時点の年齢が40歳以上の人は、集団健診の際に検査料500円をお支払いいただくと受診できます。

集団健診の日程及び会場は市保健相談センターへお問い合わせください。

問 市保健相談センター ☎41-2110



女性に増えている「大腸がん」!

今や日本人の2人に1人が「がん」にかかり、死因の3割が「がん」です。その中で最も多いのが「肺がん」ですが、女性では「大腸がん」が最も多く、年々増加しています。

◎「大腸がん検診」とは

集団検診では、簡単でたくさんの人を検査できる「便潜血法」を行っています。検診日に容器を渡し、約1週間後に採便した容器を回収する方法です。



9月・10月 休日救急当番医・歯科休日急患在宅医



鹿屋市医師会		診療時間 8:30 ~ 18:00	
月 日	医療機関	住 所	電話(0994)
9月13日	㊦ 園田クリニック	旭原町	43-8181
	㊧ こだま小児科	笠之原町	41-5111
	㊨ 徳田脳神経外科病院	打馬1丁目	44-1119
20日	㊩ 池田病院	下祇川町	43-3434
	㊪ まつだこどもクリニック	西原2丁目	52-0507
	㊫ 小林クリニック	上谷町	41-0700
21日	㊬ 中塩医院	西原1丁目	43-2489
	㊭ まつだこどもクリニック	西原2丁目	52-0507
	㊮ 西原クリニック	西原1丁目	43-4195
22日	㊯ みやぞのクリニック	田崎町	40-4600
	㊰ えとう小児科	札元2丁目	40-3700
	㊱ たんぼぼクリニック	川西町	42-6778
23日	㊲ 鹿屋ハートセンター	札元2丁目	41-8100
	㊳ おひさまこどもクリニック	新川町	42-7822
	㊴ 村上整形外科医院	今坂町	41-2511
27日	㊵ 浜崎クリニック	向江町	43-3305
	㊶ やのファミリークリニック	寿4丁目	43-6248
	㊷ よしどめ整形外科	川西町	31-1700
10月 4日	㊸ 伊東クリニック	札元2丁目	43-3500
	㊹ こだま小児科	笠之原町	41-5111
	㊺ 恒心会おぐら病院	笠之原町	44-7171
11日	㊻ 前田内科	本町	42-2175
	㊼ まつだこどもクリニック	西原2丁目	52-0507
	㊽ 大隅鹿屋病院	新川町	40-1111
12日	㊾ おばま医院	寿2丁目	42-5235
	㊿ おひさまこどもクリニック	新川町	42-7822
	㊽ 検見崎病院	西原1丁目	43-2991

肝属東部医師会		診療時間 9:00 ~ 17:00	
月 日	医療機関	住 所	電話(0994)
9月 13日	ルミコ医療ステーション	肝付町新富	65-0921
	はらだ整形外科	東串良町池之原	63-8080
20日	吉川医院	肝付町前田	65-2022
	花田整形外科・リウマチ科医院	串良町有里	63-1379
27日	小浜クリニック	吾平町上名	58-6025
	岩重医院	東串良町川東	63-8514
10月 4日	入佐内科	吾平町麓	58-7006
	内村産婦人科	串良町岡崎	63-2521
11日	高山胃腸科・外科	肝付町前田	65-7171
	黎明脳神経外科医院	串良町上小原	63-7878

鹿屋市歯科医師会		診療時間 9:00 ~ 15:00	
月 日	医療機関	住 所	電話(0994)
9月13日	武田歯科医院	今坂町	44-1619
20日	すみの歯科医院	寿3丁目	42-2959
21日	高須歯科医院	高須町	47-2525
22日	とおや治歯科クリニック	寿1丁目	40-1811
23日	中野歯科医院	共栄町	41-7455
27日	中原歯科医院	西原1丁目	43-0088
10月 4日	西の原歯科	打馬1丁目	40-4180
11日	根木原歯科	札元1丁目	41-0750
12日	はまち歯科・小児歯科クリニック	札元2丁目	43-8461

◎大隅肝属地区消防組合テレホンサービス ☎ 43-0119

平日/午後5時から夜間救急当番医を案内

※ただし、火災発生時は一時火災情報に変わります。

休日/休日救急当番医及び歯科休日急患在宅医を案内



街

フォトスクラップのページが合併してから鹿屋市も広くなつて近所のイベントしか知らない私でも「こんなことがあったのか…」とか、「来年は行ってみたいな」という楽しい写真と情報がいっぱいで読みがいがあります。毎月楽しみですよ。(Yさん・31歳・女性)

お便りありがとうございます。Yさんがおっしゃいますように、毎月多くのイベント等が、市内で開催されています。これからも、参加者の表情や気持ち、イベントなどの楽しさが、市民の皆さんに伝わるような紙面づくりに努めます。

グ ループホームで働いています。奥様を亡くされた男性の方が入居されていますが、「本当は家で暮らしたい」と聞く事があります。今の50代、60代の男性向けに掃除機の使い方、料理等の講座があったら良いと思います。(O・Mさん・55歳・女性)

ご意見をいただきありがとうございます。自分で料理したり、掃除の得意な方もいらっしゃいますが、まだまだ苦手の男性が多いのでしようね。市では、男の料理教室を実施したこともありませんが、参加者が少ないのが現状です。男女を問わずに、一人になったときの生活の変化について、家族や地域で考えられる社会にしたいですね。

広

報かのやいつも楽しみに読んでいます。私は、あの記事をもう一度見たい、読みたいという時にすぐ読みかえせるようになるページや良い言葉を見つけるとマーカーでしるしを付けています。ちゃんと1年分保管しており、何度も読みかえます。これからも、どうぞ良い情報や楽しい記事の掲載のために頑張ってください。(まさじーさん・56歳・男性)

お便りありがとうございます。広報かのやをご愛読いただいているとのメッセージ、本当にうれしく思います。これからも、もっと多くの市民に愛される、一番身近な情報誌として、わかりやすくお伝えしていきますので、引き続きご愛読いただきますようお願いいたします。

土

用の丑の日にあたり、ふるさと納税で鹿屋市の鰻を購入させていただきました。私は子どもを産むまで添乗員として、よく鹿児島に来ていましたが、九州南東部の鹿屋市までは来たことがなく、今回鰻を食べたことでぜひ訪れたいになりました。同居している両親は、大分県出身で「やっぱり九州の鰻がおいしい。」ととても喜んでくれました。これからも豊かな自然を守り、たくさん笑顔であふれる町づくりをさせていただきます。ありがとうございます。(ぎおんさん・39歳・女性)

ふるさと納税へのご協力ありがとうございました。京都には美味しい食べ物がたくさんあると思います。鹿屋の鰻を食べさせていただきました。大隅半島は、自然豊かな地域であり、鰻の養殖には欠かせない豊富な地下水、温暖な気候に恵まれています。他にもたくさんさんの美味しい食べ物やばら園など楽しめる所もありますので、是非遊びにいらしてください。

このほか、複数のおハガキをいただきました。今号で掲載できなかったおハガキについては、ホームページで公開しています。

※キリトリ線

8 9 3 - 8 5 0 1

No.233

市民の皆さんからの お便りを募集

広報誌への感想や、市へのご意見のほか、地域のイベントや出来事、お勧めスポットなど多くの情報もお寄せください。

お便りをいただいた方の中から、抽選で特産品等をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています！

※掲載時に、原稿の一部を手直しする場合もございます。

〒 893-8501 鹿屋市共栄町 20-1
市広報広聴課
「市民のひろば」係
☎ 31-1123



お手数ですが
52円切手を
お貼りください

鹿屋市役所 広報広聴課
Kanoya 「市民のひろば」係 行

お名前／ふりがな

電話番号

ペンネーム ※未記入の場合、イニシャルで掲載します

年齢／性別

歳 男 ・ 女

ご住所 □□□-□□□□

ご希望のプレゼント

A ・ B



マチロク ～いつもの街の貴重な記録～



昭和38年に撮影された、ある小学校の運動会での一コマ。写真には重箱にたくさんの巻寿司や、おかずを見ることができます。このお弁当を目当てに運動会をがんばった人もたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。同じフィルムにはお弁当をほおぼる子どもの様子もあり、家族の団らんの様子も感じることができます。朝早く準備したお弁当を、おじいちゃん、おばあちゃんも一緒になってに舌鼓をうつ光景が目に見えます。

閩市文化財センター ☎ 31-1167

クローズアップ!!

私たちさくらんぼクラブは、春の親子交流会やブルーベリー狩り、牛乳工場見学や水遊び、クリスマス会など、年間を通して親子みんなで楽しめるような活動を月2回行っています。

未就園児でも楽しめるような活動を計画していますので、ぜひ見学にお越しください。

また、一緒に活動してくださる人も募集しています。活動内容は市児童センターや市子育て支援課等でご確認ください。

- 活動日時＝原則第1、3火曜日 10:30から1時間程度
 - 活動場所＝市児童センター（今坂町）
 - 年会費＝親子1組につき1,000円
- 閩市児童センター ☎44-9825

Close Up



Present

応募〆切 10/9 (金)

当選者の発表は、商品引換券の発送をもって代えさせていただきます。

A賞 南国フラワープランツ商品引換券
／3名様
(有)南国フラワープランツ
鹿屋市大浦町14101-3



花や野菜の苗と交換できる1,000円分の商品券。

B賞 薔薇カレーレトルト2個セット
／3名様
(有)善STYLE
鹿屋市寿5-26-10



かのやばら園のレストラン「ローズダイナー」で人気の薔薇カレーのレトルトパック。



※キリトリ線

お便り&メッセージ

ご協力ありがとうございました。

ご応募の際にご記入いただきました個人情報は、抽選・商品引換券の発送・アンケート統計以外の目的で使用することはありません。



みんながワクワクなれる 農業にチャレンジしたい

明日への扉

No.9



Tatsumi Oshira

大平 龍美さん

昭和56年鹿屋市生まれ。鹿屋農業高校卒業。実家(南国フラワープランツ)に、平成18年から就農。今年3月に、将来の農業を支える若者が参加して行われた、第54回全国青年農業者会議において、最高賞となる「農林水産大臣賞」を県内から初受賞。(34歳)



花や野菜の苗が栽培されている一角にバナナやパイナップルなど南国の果物が育つ「トロピカルランド」と名付けられた場所がある。大平さん親子の「全ての人がワクワクする農業」を感じるこの出来る場所だ！

私は大浦町で、両親、妻とともに花と野菜の苗を栽培しながら、農場での直売を中心に種苗店やホームセンター等へ卸売りをしています。両親が「消費者に良い物を直接見定めて買って欲しい」との思いで始めた生産直売の農業の可能性に魅かれながら、これなら「もうかる!」とも直感。又、休まず多忙に働く両親に少しでも楽をさせてあげたいという思いもあり、平成18年に就農しました。

就農を期に入会した鹿屋農業青年クラブも今年で10年が経過して最年長となり、これまで頑張ってきた農業に対する自分の思いを発表したいと大会に出場しました。地区・県・九州大会と勝ち上がり、最終的に今年3月に東京で行われた第54回全国青年農業者会議の意見発表の部において、最高賞となる「農林水産大臣賞」を頂きました。タイトルは「七光のままでは終らない」バラの街かのやを花の街KA・NO・YAへ」。農業青年クラブ仲間との飲み会の中で出た「所詮オレらは親の七光」という一言をきっかけに見出した将来の目標について発表しました。

私は、2代目で「親の七光」です。皮肉に聞こえる言葉ですが、私にとっては、親を認められている証拠

であり最高の褒め言葉です。ただ、このままでは終わらないという強い思いも持っています。私は、親の確立してきたことを上手く利用しながら、新しい事にチャレンジしようと思っています。親の七光^{ナナヒかり}の光。つまり、八つ目の光を輝かすことが私の夢です。9年間続けている趣味のフラワーアレンジメントを生かし、苗の生産直売と共に切花の小売も始めます。ただの小売ではなく農場に草花中心の花畑を作り、お客さんに散策しながら花刈りを楽しんでもらいます。そして収穫した花で、私なりの私にしか作れない花束やアレンジメントを製作して、子どもから年配の方まで、より多くの人に花の魅力を伝えていきたいと思っています。

そして、バラの街かのやを世界に誇れる花の街KA・NO・YAと呼ばれるような街づくりの土台を築きたいですね。これが私の夢であり、私の目指す+1の光です。

また、両親と協力しながら、やる人も見る人もワクワクするような農業を目指し、現在「Tropical Land(トロピカルランド)」を開拓中です。バナナを中心にトロピカルフルーツを栽培しています。是非一度、私の農場へ遊びに来てください!!

Dream it, Try it, Do it

介護職員実務者研修
毎月1日随時受付(通信制)



第6回介護職員初任者研修
10月開講

- ・子供(生後2か月以上)を預けて 介護の仕事はいかが。
- ・働きながら国家資格(介護福祉士)を 取りませんか。

風の村 計画
住: 高齢者住宅(風の城・風の舞)
医: 在宅療養支援診療所・訪問看護
介: 通所介護・訪問介護
福祉サービス: 居宅介護支援・ボランティアなど

鹿屋市野里町2485番地 TEL0994-36-6000 FAX0994-36-6001
風の村へようこそ 検索 詳細はホームページでご確認下さい。

地域の皆様が 会員です! みんなが立派にお葬儀を行えますように!
~そんな地域になりますように~

まごころ葬 98,000円
(仏事、神事を行わず親族のみでまごころをもって送る葬儀です。)
家族葬も 一般葬も 194,000円
プランのみ

斎場使用料・遺影写真・棺・骨つば・位牌 無料
病院お迎え・通夜、火葬場の手伝い・役場手続き
24時間受付 お気軽にお問い合わせください
家族葬の 田崎斎場 鹿屋市田崎町108
池田屋 パイパス斎場 鹿屋市大浦町14042-8
☎0994-44-4440 葬儀相談係 池田 成利

つなぐいのち、つながるこころ。
池田葬祭では
いかなる「お葬式」でも対応させていただきます
家族葬
明朗会計 安心価格が 176,000~
お葬式の事前相談・ご依頼・など、お気軽にお問い合わせくださいませ。
池田葬祭(24時間 365日対応) 鹿屋市王子町 3967-7
☎0994-40-4444

広告のひろば
(株)新生社印刷
☎ 0994-43-2238

広告のひろばは、各事業所の広告を掲載することで、市民の皆さんへの情報提供を目的としています。また、市の自主財源確保の一環として行っています。広告に関するお問い合わせは、印刷会社、市広報広聴課になります。お気軽にお問い合わせください。

Rinaikai つながり
困ったな~ どうしよう... そんな時は一人で考えずに、まず相談を!!
子どもに関する相談を24時間で受け付けます。
電話:0994-45-7300
Mail:info@tunagari-rinaikai.com
子ども相談・支援ルーム つながり
〒893-0064 鹿屋市西原2丁目33番12号1F

スマホからのプリントが 毎日安い!
iPhone Android
半額の 19円 (税込) 9月末まで
思いづくりのお手伝い
写真のハマヤ
カネラのハマヤ
フジフィルム化粧品「アスタリフト」取扱店
寿店/鹿屋市寿2丁目2番2-1号 (寿町バス停前) 駐車場有
☎0994-41-3885
営業時間 平日/AM8:30~PM7:30 日祝日/AM9:00~PM7:00

福祉斎場は事前相談すると 金利手数料0円の分割払いOK!



3斎場すべて100名収容ホール **¥200,000~**
私どもの福祉斎場(観音・細山田・大崎)は上記の金額と最高な設備の斎場で故人様を立派にお見送りすることができます。 かくし葬儀社支配人 真角 浩一
お葬式のご依頼・ご相談・お問い合わせは さくらくてんごく
☎ 0120-599-059
株式会社 上村葬祭 本社 鹿児島県鹿屋市旭原町3589-4 (青山斎場敷地内)